



下駄ばきで気軽に 「納涼市政相談」おわる

“あなたの声を市政に、…と市の
年中行事の一つ。「納涼市政相談」が
8月7日（須津農協前）、9日（広見
町公園）、11日（湯沢平公園）の3
カ所で、夜7時から9時まで開き、
特製のウチワやパンフレット、冷た
いムギ茶などをサービスしました。

この納涼市政相談は、下駄ばきで

気軽に地元住民がつめかけ、3日間
で、のべ350人を数え、予期以上の成
果をあげました。会場には、「納涼
市政相談」と書かれた赤ちょうちん
が飾りつけられ、市側からは渡辺市
長をはじめ教育長、関係部課長が出
席しました。

相談件数は、全部で100件を受理

しましたが、主な内容は60歳が道路
や河川、側溝などの新設改良で、中
には3才と1才10カ月の乳幼児をつ
れて「生活が苦しいので夫婦で共稼
ぎしたいが、こどもを保育園へ入れ
て欲しいと哀願する若いお母さん。

また、道路上に田んぼや畑の草を
平気で投げ捨てる農家があって、こ
れには困ります……などの苦情も飛
び出しました。

【写真・広見町公園で地元住民の
声を聞く渡辺市長】